夕刊 磐城新聞
八月九日發行
（日曜祭日翌日休刊）

童謠に於ける現實主義

島田忠夫

一

短歌の方面では『現實主義』とか『現實的』とかいふ語が昨年あたりから多く用ひられてゐる。これは現今文學界一般の趨勢として某潮が現實に根ざして來てゐることが、その發達の根元とも見られるが、實作のうへでは、土屋文明、松村英一、半田良平などといふ中堅歌人が、最も現實的な作品を發表してから、意識的に歌壇に叫ばれて來たもので見て大した間違ひはあるまい。昭和八年度の作品としては

1 春が見るは鶴見埋立地の一隅ながらほしいまゝなる機械力專制は　土屋文明

2 横須賀に戰爭機械化を見しよりもここに個人を思ふは陰慘に過ぐ　同

3 電車おりて道は直ぐなる空地には土管をおき鐵管をおきコールタールの樽をおく　松村英一

4 塵芥燒却の黄なる煙は限らぬゝ深川本所の空流れたり　同

5 一鉢を購はむ錢ここにもてど見てゆくのみにこゝろは足らふ　半田良平

6 われより先に植木園にありて去る時もなほ皐月を選れる人は富むらむ　同

これらが『現實主義短歌』と稱せらるるものである。さて、童謠の世界にはどうか

○

童謠製作にあたつて僕は頭初から現實主義であつた舊く、兒童雜誌『童話』に發表せる作品も同じく『童話文學』に發表せる作品も僕のはみな現實的作品であつた。童謠詩『柴木集』（昭和三年六月。岩波書店刊）も集中二三作を除く外は悉く現實的作品である。僕は大正七八年頃から、一筋にこの道を、つまり現實主義の作品を作り作へ突き進んで來て居るのである

○

僕は兒童の世界に所謂西洋流のお伽噺風な、甘たるきファンタージュなどは不必要として極力これを排擊して來てゐる。西條八十氏なぞに言はしむれば、豊かなイマヂネーションは美しい詩の世界であるなどといふであらうが、僕には架空的な夢幻的な境地より、現前の兒童らの世界を最も忠實に再現することに據つて最も傑れたる藝術つまり、兒童文學が製作されるものと信じて少しも疑はないのである

馬（童謠詩）

原田小太郎

お馬を賣つて
病院へ
小母さん、手術を
すると云ふ
馬子の友公
まだはたち
こんな晴だに
縁にきて
病んでる爺と
二人して
わるい陽氣と
話してる

社會の今日

8月10日
△井原西鶴歿す（元祿六）△黄海大海戰（明治二七）△小橋元文相へ無罪宣告（昭和六）△志賀遞信政務次官政府攻擊の聲明を發し辭表提出△富民協會の農業博物館竣工式擧行△スペインマドリッドに帝政派の暴動起り市街戰で五十八名死傷（同七）

○

晝顏や廢き川原の水瘦せて　宇佐美

ふるさとのうらぼん近し秋草の、花を束ねて入らり歩く　山田邦子

寄贈書目

△ROMAJI―八月號（定價二十錢、東京市神田區丸の內三ノ一二帝國劇場事務所內ローマ字ひろめ會）

講談 浪人長屋 (171)

日吱武志作　月草道子畵

こうの巢泊り

――小判さまが、ぬくもりで、ほかほかしてござるやうだ、もつたいないこんだが、ごかんべんしてもらふべね

今日も、ぽかぽかと、よい道中日和だ

太七と、片目の男、甚吉とは無駄話をしながら、本庄を後にした

しかし、太七は、油斷しなかつた、人影もない林の中を通るときなどは、匕首かなんかで、ぶすりッ、やられるのではないかと、ひやひやした

甚吉は、そんな氣振りは少しも見せない

それが却つて、太七をびくびくさせた

――道中師と知りながら道づれとは、いやはやなんたるこんだ……

太七は、腹の中で、天道さまを恨んだ

その日は、鴻巢泊り

――さて、いよいよ今晩だぞ

――今夜こそ、ねむるとやられるぞ

太七はそう堅くおもひながら、また、とろりとやつてしまつた

『もし、若けえの、馬方さん』

と、搖り起すものがある

ほッと、太七は眼をあけると、片目の男がニヤニヤ笑つてゐる

『わ、なんぞご用でも、おらサねむつてやしねゑでやすよ』

太七は、寢言のやうなことを、夢中でいつた

『フフフ、よくねむつてゐるところをすまんがな、おれは、之から急におもひ立つて、桐生へ廻ることにした』

みれば、もうちやんと身仕度してゐる

太七は、突差に、こしに手をふれてみた

――あるく、これさへあれば……

『おや、さうですかえ、それはどうも……』

『ぢや、氣をつけていきねえよ宿賃は、おれの分だけ今拂つたからな……』

片目の男は、さういひ殘して出て行つた

――やれく、これで助かつたといふもんだ、おらが、寢るときでも、かうしてちやんと縛りつけてゐるので、大將、たうとう尾を卷いて逃げたのだせ、あゝよかつたありがてえく

太七は蒲團の中で、無事な胴卷をたゝきながら、よろこんだ

安心したゝめか、再び寢込んでしまつて眼ざめた時はもう晝近くであつた

『道を急げば晩までにや江戸へ着ける。小菊さまがさぞお待ちかねでござらつしやるだろ』

あわてゝ食事をすました太七一應胴卷をあらためようと廣げてみるや

『あッ』

と、まつさをになつて仰天した

『わ、わッ』

と、太七悲痛な叫びをあげて腰をぬかさんばかり仰天したのも無理はない

胴卷きの中からころころと轉び出たのは、小判であることか、切餅型に見せかけたのは、瓦ではないか

『うーむ』

餘りのことに太七氣が遠くなつてしまつた

叫びをきゝつけ、宿の者が飛んで來て介抱して聞いてみればかくの次第

『それ、番所へ』

『お役人さんを』

と、宿は上へ下への騷ぎ

七月集 其三

福富秀子

○雨はれて朝あかるき土手下の馬鈴薯畑に風吹きにけり

○暮れなづむ畑に風吹き馬鈴薯の花白く搖るる丘の上の路

○ひとときの雨間を雲の動きゆきて夕べ廣原に陽のあたり居る

○寺道を裏より出でて歸り來し丘の畑は茄子の花咲けり

○目黒川の水音近く夕暮の菜の花畑下りて來にけり

入山の今昔を語る會 (3)

先崎　坑夫は酒を呑むことばかり考へてゝコスなど云ふ氣はありませんでしたね

各自口を揃へて　昔の坑夫の引越しは行李一つに、ランプ一つだけで蒲團から皿のはてまで全部飯場から借りてその代金を取られたものでした。何でもタガネ一本一日一錢、鶴嘴は二錢、蒲團一枚二錢ぐらゐでした

小松　職工の方は會社から借りました

尾　私は何時の會計でも飯場から差引かれた殘りの上金は一圓五十錢でしたがその頃は自分の會計はどんなになつてゐるかなどは何とも思はなかつたし、若し飯場に計算を見せろ等言へば拳骨を喰はされるからそんなことは言へませんでした。その頃の面白い話があります秋の飯場に○○○○と云ふ者が居つて、十五日間に七日も稼げば良い方であとは夫婦二入で酒ばかり呑んで何時でも一會計に十五六圓下りになるので、飯場でもあきれて一廻り（附近炭鑛に働きに行つて[illegible]いと云ふたら飯場の廻りを一廻りして『一廻りして來たから又働かして呉れ』とねぢ込んで飯場にも外の山に行つて來いと言はなかつたと云ふので終に取付け料を又貸して働いて居りました

先崎　昔の坑夫は一會計十五日の中一週間も働けばよい方でしたね、そして斷層切坑　等は切り羽で寢てばつかり居るものです

尾　昔は掘進坑夫と採炭坑夫と分れてゐて、掘進坑夫は威張つたものです。掘進坑夫ならば會社でも大目にみてゐた樣です

小松　切り羽に水が出たりしたら仕事場で博奕を打つ者等もありました

先崎　昔は締切り日は間取と稱して皆休んで飯場に集まつて割當酒を呑む事になつてゐました

廣告

株式賣買、債權取立
合資會社 三共商事
平町大町 電三六〇

今日から開業
超近代的ホールに明朗な女給のサーヴィス
カフエー 平會館
向ふ五日間開店披露として料理一品に付き記念品提供
平三丁目裏通

謹告
拜啓陳者磐城中學校同窓會定時總會及懇親會を左記次第により開催致し候に付御出席相成度此段以紙上謹告候也
八月八日
會長 關內正一
副會長 諸橋元三郎
一、定時總會 十日午後一時、磐城中學校內
一、懇親會 同午後六時、谷口樓 會費金二圓五十錢

石城酒造組合主催 唎酒會
優等 入選
白鳥
辰の口本店
平塩村（電話平二八五番）
販賣店
平町三丁目（電五四六番）

耳鼻科 咽喉科 專門
（入院病室完備 隨意）
平町南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番

內科 外科 小兒科 耳鼻咽喉科 花柳病科 レントゲン科
平町田町
高久病院（電話五三一番）
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹敏雄

內臟外科 一般 外科 花柳病科
（入院隨意）
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

外科全般
（特ニ內臟外科、泌尿、性病科）
醫學博士 渡部義夫
小兒科、內科
女醫 渡部きい
（入院應需）
平町役場前、電話（二七七）
渡部外科

磐城家庭婦人會
皆樣方の御手不足を補ふ家庭婦人會が出來ましたどうぞ御試用下さいませ。
親切。迅速。
◎會員募集（入會金ト維持費ハ申受ケマセン）
平町字田町五（元郵便局ウラ）
駒井ヒデ
電話三九九番（呼出）

海の夏が訪れました
御家族樣連れの御散策にも急を要する御商用にも
是非尼子タクシーを御願致します。
平二 電六四〇番

精神病科
脳脊髓病科
神經病科
郡山市外大槻村針生
郡山驛より約三十丁
安積中學より約五丁
郡山腦病院
電話九二五番
院長 醫學士 金森五郎
入院隨時

吉田眼科病院
平町紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

東京株式取引所 短期 實物 取引員
治 角治商店
東京市日本橋區兜町一ノ四 電略（カ）又ハ（カクチ）
電話 茅場（66）
公社債、株式現物 賣買
治 角治株式店
平町本町三丁目 七十七銀行隣り 大谷時計店裏
株式日報 營業案內 御報進呈
電話七三番
主任 山田芳藏

內外 建築材 建具材
磐城國平町（公園下）
入 阿部材木店
阿部好利（改メ章）
電話四九四番

大地に滿ちる旺盛な活力素
夏は行け！ 野に！ 山に！ 海邊に！
三四年型デラックスセダンで
三井タクシー
電話六八五番

三年前の丁度いま頃
地元寄附十八萬六千圓問題で大騷ぎ
一部竣工祝の四倉築港後日譚

工費四十四萬圓で一昨年十月着工した四倉漁港修築工事はその後順調に進捗し此程北防波堤及第一船溜五千百坪の護岸及浚渫を終へ近日中に同船溜を開放し漁船を收容することになつたので同町漁業組合では明十日各關係方面五十餘名を招き一部竣功祝賀會を催す事となつた

×

向來劃期的に齎される貨物積み卸し、漁獲物の現金化の圓滑、海上變災の匡救天然資源開發等、等。今後漁港完成に因て被る恩惠は蓋し遍に數ふべからざるものがあらう、而も出來て了へば至つて簡單であるが、最初摺つた揉んだの揚げ句は町百年の大計と許り、事の成功を焦つた結果所謂溺者に藁の譬へでこいつ一番政黨的に解決しては――なんて良い加減な口車に乘せられ賢明な新妻町長さん以下中には親代々政友會に凝り固まつてゐる手合迄擧町民政へに入黨したゐは良かつたが其後依然埒があかなかつたなど淚も出無い悲喜劇が行はれたりしたもんだ

×

憶ひ起す昭和六年の八月六日、今から三年前丁度今頃である。町民大會實行委員一同の名による美濃判大の『第三回報告書』なるものが每戸に配られて一的異樣の雰圍氣が全町に磅礴した、それには四倉町の現狀岌々乎として夫れ危い哉。の慷慨悲歌的文字が聯ねれてあつた、試みに摘記して見る

×

(第三回報告書)吾々は最後に最も危憂すべく亦悲しむべき事實を町民各位に報告せねばならぬ事を殘念に思ひます、第二回の報告書に於て町會が到底當町としては負擔し得ざる莫大な地元寄附金增額を知事から申し渡されて極度に狼狽して對策中である事は報告しましたが、事態は急轉直下的に進展し吾々町民の代表者である町會議員は此の十八萬六千圓と云ふ莫大な寄附を簡單に承認して直ちにこれを縣知事に答申致しました、新妻町長と知事が會見して歸町した翌日地元寄附を八萬五千圓に增額する答申は知事に一蹴された故今後如何にすべきかと町長が町會に諮問したところ町會は僅か二三時間協議の末此の諸問案を議案として直に知事の申出を即刻承認すると云ふ事に決議してしまつた(中略)如何に善意的に解釋して見ても吾々の代表者のこれらの行爲があまりに無謀なので此際其責任上町長、助役、町會議員に對して猛省を求めるの必要ある事を痛感し町將來の爲め一つは町政を改革する意味から吾々は左の如き反省勸告文を郵送しました、吾々の此の勸告に對して前記の代表者が如何なる反省の事實を吾々の前に披瀝するかは未知でありますが各位は此の問題について充分監視すべきであると想ひます

磐炭が練習開始
前年の霸者
縣選手權大會 陸上競技出場顏ぶれ決定

昨年の縣體育協會主催福島縣選手權大會で覇を制し地方に勇名を馳せて居る磐炭陸上競技部では今年も來月二十三日福島市營グラウンドに開催される同大會に出場すべく此程より猛練習を開始したが個人の技倆は殆ど申し分無く只チームワークに些か欠くる點あるので特に八百繼走に力を入れ如何うにかして優勝旗を確保せんと意氣込んで居る、尚十月には全國實業團の優勝者日立や水高に遠征し下旬には福島高商を招き挑戰する筈である、因みに右縣選手權大會への出場メンバーは左の如し

監督會川、主將宇野(百米)中井川、瀧口、宇野(二百)加藤、中井川、瀧口、宇野(四百)寒河江(八百)寒河江、小貫(千五百)小貫(走高跳)川又、高橋(走巾跳)川又(三段跳)金成(八百繼走)瀧口、中井川、加藤、宇野

因に同部では八百繼走と共に百、四百等前回の優勝種目は當時に比較して勝ると劣ることなくこの他に千五百、五千等も相當期待を繫いで居る

再勝を期して 鑛山野球へ參加
藤田コーチャー招聘

尚來る二十三、四、五の三日間に亘り仙臺スポーツマン球場に於て擧行される鑛山監督局主催各鑛山野球大會へ出場する同鑛チームは前年の覇權を堅持す可く猛練習中であるが來る十三日より約十日間に亘り過般の縣下中等學校野球大會に來平した元法政の名手現六大學リーグ專屬審判藤田氏を招きコーチを受ける筈

盆を控へて工事を急ぐ

本町の鋪裝進捗　平町二丁目では舊盆前の鋪裝工事に對し既報の如くこれが休工方を監督所に陳情したが困るのは同町許りでなくコンクリート工事を了し目下乳劑滲附工事中の三丁目青年團でも每日約三十名が出勤勞働者に伍して路面洗滌其他に助力して居るので盆前工事は幾分豫定より早く仕上るらしく小林平土木監督所長もこの奉仕出動に感謝して居る

。。。。道路技師視察　縣土木課木村道路技師は今九日技手一名と共に平町の鋪裝工事を視察した

依然繭價安豫想
郡下の夏秋及秋蠶

各養蠶家の財政を極度に窮迫せしめた未曾有の春繭安は政府への救濟要望、夏秋蠶全廢などが叫ばれるに至つたが郡下に於ても掃立減を豫想されながら今月中旬頃出廻る夏蠶を越に夏秋、並に秋蠶は同下旬頃より出廻るので平農業倉庫では例年の如く今月二十六日より約四十五日乃至五十日間の豫定を以て四倉繭市場を開設する事になつたが出廻りは昨年の四萬五千五百三十六貫よりは幾分減少するらしく相場も昨年同期の最高四圓六十八錢、最低三圓八十錢に對し一圓八十錢から精々二圓留りを豫想されて居ると

政府米拂下申請

飯米不足者の爲平町では二百四十八俵、植田町では三百八十五俵の政府米を拂下げ方を出願、縣では昨八日山崎農林大臣に申請の手續きを取つたが拂下げ高は要求より幾分減少するらしく時價一俵十一圓餘に對し九圓內外であらうと觀られて居る

平町の大地を走る
諸車類二千七百台
哀れ衰殘の人力車

町役場最近の調査による平町の乘物其他車類は自轉車の二千二百七十台を筆頭にリヤカー三五九　オートバイ一三　同運搬用三　乘用自動車五五　貨物自動車二〇　等々で自轉車並にリヤカー激增に反し荷車、人力車は年々減少し時代に消え去られた人力挽子は年五圓の稅金が半額に値下げされても納付出來ぬので當局では昨年度より不徵收に決定した程である、尚ほ其他この方面の今年度租稅賦課額は縣稅一萬三千三百七十三圓十錢、町稅一萬一千九百二圓五錢で概して成績がよいとの事

青訓査閲
來年一月執行

本年度の青訓教練査閲は聯隊區司令部佐川滸三郎中佐により來春一月十四日より十六日間行はれるが査閲人員は郡下三十六青訓生千五百六十八名で各日午前八時

二、內郷)二十一日—箕輪校(箕輪第一、同第二)湯本校(湯本、[illegible])二十二日—鹿島校(鹿島、江名)小名濱(小名濱、玉川)二十三日—事務整理日、二十四日—渡邊校(泉、渡邊、磐崎)二十五日—山田校(山田、植田錦)二十六日—上遠野校(上遠野(晝夜)入遠野)二十七日田人校(田人)廿八日—川部校(川部、勿來)

の監視ばかりでなく大いにやつて欲いと

臨海學校通信
平第一校 (四倉より) —(6)—

。。。。。相當に黑く燒けた

(承前)—今日で六日の僕相當に黑くやけた人、赤く泣き出しさうな顏の人赤褌、赤帽に熱くやけた砂を踏んでこの荒海におどりこみました。先生は皆、最前線に立つて僕等を見守つてくれてゐます。安心して大波とたわむれました。頭から波をかぶつては足をさらはれ、鹽からい水を呑んではしがみ顏をして先生に笑はれたり、先生が倒れるのを見て笑つたり、用心しながらの遊びも仲々愉快なものです。熱くやけた砂に体を橫にして、うでたてのかにをおやつに頂いて午前の海を終りました

。。。。。磯傳ひに波立藥師へ

午後の宿舍はひつそりとしてゐます。一室に皆が集つてお話會です。隣室にゐてもK君の高い聲が面白く聞えました。校長先生、波先生、中島寫眞屋さんのお顏が見えました。海は益々荒れて午前中は危く立つてゐた飛込台も今は倒されてみにくい姿となつて渚に橫たはつてゐました。流石の僕等も飛び込む勇氣がありません。磯傳ひに波立藥師をお詣りしました。鰐ケ淵の朱塗りの橋をバックに一枚、元潮磯館前で一枚二枚の記念撮影をすまして午後の行事を終りにしました。海邊には裸の人の姿は見えません。波はいよ〳〵高く、いかりくだけてゐます。キャラメル、パンのおやつを頰ばりながらお風呂へ行く人、ボール遊びの人元氣のやうですが疲勞が見えてゐるやうです。なんせ六日目ですもの

早朝川炭を拾つて子供が米代稼ぎ
天候に祟られた勞働者街

打ち續く變態天候は既報の如く鎌田、立町方面の勞働者から根こそぎその仕事を奪つてしまひ已むなく乳呑兒を背負つた女房達が夫に代つて手間賃取りに出稼ぐと云ふ窮迫振りを示して居るが夫れでも尚足らず最近では夏休みの子供達が早朝から夏井川で炭拾ひをしこれを一俵(十貫匁)三十錢位で附近に賣りつけては生計を助けると云ふ可憐な情景を見せてゐる

窃盜詐欺十一犯の相馬小僧また惡事
好間の農夫を欺く

七日午前九時頃好間村大字北好間字權現堂四九片寄義明(三七)は須賀川署へ出頭七十五圓を詐欺にかゝつたと申出たので直ちに手配岩瀨郡牧本村大字牧の內鑛泉旅館興心館事鈴木大一方に潛伏中の岩瀨郡稻田村生れ詐欺前科六犯深谷丈之助(五三)を猪狩部長、關本、本名の兩巡査が逮捕したが更に自白によれば相馬小僧の異名ある平町大町居住相馬郡中村町生れ窃盜詐欺前科十一犯遠藤忠三(四三)と共謀であること判明、岩瀨郡鏡石村高久田溫泉に潛伏中の相馬小僧をも檢擧した

兩名は共謀の上義明に對し丈之助がこの程分家したものの田畑登記料がなく登記濟みとすれば他に賣却して返濟するからと稱し七十五圓を借り受け眞實を裝ふため須賀川登記所迄同道をせまり途中にて義明を煙にまき須賀川自動車會社の貸切りで逃走したので追跡逮捕したものである

ラヂオ体操
參加者數增加
臨海學校明けで

平ラヂオ体操の會今九日の出席人員は臨海學校の了つた關係で百六十名の增を示し總計二千七百四十四名、延人員二萬四千八百八十二名である

(第一校會場)第一兒童六四七　第二同上一、二九　その他學生三八　小兒三八　大人九六　その他五　計一、九五三　延人員一六、三七四

(第三校會場)兒童學生六〇一　その他一般一九五　計七九六　延人員七、七〇八

一般人の出席は昨日の三十三名よりは些か良いが平均に比して不良で兒童

海邊の跳躍から一同太つて歸る
平第一校兒童の体重調べ

平第一校の臨海學校は昨八日を以て了り四倉歸りの八十名は甲羅を赤銅に染め大元氣であるが入所前の体重と比較して二キロ(五百三十四匁)を筆頭に增六十七名、同量十一名、減二名で平均〇・七キロ(約百八十七匁)を增してゐる、昨年の平均は〇・九キロであつたと、又新舞子に於ける日歸り夏季聚落の六十七名は(計量六十五名)增六十三名、同量一名、減一名で最高一・八キロ(四百八十匁)を首位に平均〇・六キロ(百六十匁)の增を見せてゐる、昨年は眞の虛弱兒、貧困兒を選んだ關係上平均增量は一キロであつたと、入所中は運動時間が通常に倍加した爲め食慾が驚く許り增進した等效果頗る見るべきものあり一週間後の召集日に再度の体量測定を行ふ

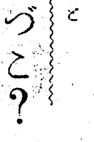
相馬荒しの詐欺漢
濱の宿に僞名潛伏
昨日小名濱で捕はる

平署では最近迄相馬地方を荒し廻つた詐欺漢東京市牛込區馬場下町五三生れ廣瀨誠藏(三二)が郡內に流れ込んだ旨中村署の手配により搜查中の處昨八日小名濱町旅館稲岡屋に柏垣康雄と僞名投宿中を同町駐在巡査が逮捕目下平署で取調べ中であると

娘いづこ?
哀れな父が搜索願

新潟縣北蒲原郡赤谷炭鑛坑夫羽下善七郎(四七)の娘キヨイ(二九)は去る大正十三年以來當時平町一丁目生花商八田與市宅に女中奉公中行方不明となり生死の程さへ判明せぬので善七郎は最近同炭鑛を馘首されてからは娘戀しの念にかられ今九日平署に搜索方を願ひ出た一方同署を通じ金十圓を與市方へ送つて來たと

艶界黑白



◇『本店の入場式はねえさん何時から?』宴會時間の事だ。それから『近頃さつぱり打擊が振はないのよ、全くスランプだわ』何のことかと思はつたら泊り込みの少いわけ◇『餘り頂いたので昨夜はエラー輸出よ』小間物を廢げた話とは呆れて物が云へぬ、次に『ランナーは滞つぷちのお姿さんにきめて置くわ』は質屋の使ひとある◇名ざしと遊ふので抗議なまうし込むと『お逢ひ出來ないんですもの――アザアボールで我慢して頂だいよ』だつて、女中迄斯んな風だから大低面食らつてしまふといふもの◇この外スパイク(下駄)ユニフォーム(じゆ袢)プレート(座布トン)ホームラン(逃出)等、等。數へ切れぬ程あるが◇最後に『ネコさんのモーションはとても素敵よ!』丈けは先ちやんにでも聞かぬと本當のわけが解らぬらしいとの評判(此種花柳界の野キュウ新語を募る)

〇……〇……〇

一年生溺死
昨日仁井田浦で

四倉町仲町一四五竹二郎長男同町小學校一年生鈴木力夫(八)は昨八日午前十一時頃大浦村大字上仁井田字橫川地內で友達四人と遊泳中誤つて深みに入り溺死した

老强盜を捕へた四人へ賞與
負傷者へは見舞も

好間村大舘阿部仁三郎(四八)同中村富次郎(五〇)內鄕村御台境古川汎次(三六)同草野庄次郎(五二)の四名は去月廿日所馬鈴薯泥棒內鄕村居住强窃盜前科九犯內田鶴吉(七二)を協力逮捕した功に依りこの程縣刑事協會から金一封を添へ表彰された、尙ほ追跡の際賊から阿部氏は一週間中村氏は三週間の傷を負はされたので右協會では前者に三圓、後者に十圓の見舞金を贈つた

。。。。。町村事務研究會　郡下各町村の事務研究會は星係官來郡明十日より二日間は關係事務所で行ふと、他は各小學校で左記日割

(十日)—平、飯野、夏井、高久、豊間、鹿島、內郷(十一日)—好間、赤井(十一日)—江名、小名濱、玉川、磐崎、湯本、永戸、澤渡、平窪、小川、川前(十二日)—植田、泉、澤渡、山田、錦、勿來、上遠野、入遠野、川部、田人(十三日)—四倉、大野、大浦、草野、神谷

十日

日出 四、五五　月出 前 四、二二
日沒 六、三七　月沒 後 六、二〇
滿潮 前四、三五 後六、三六　干潮 前一一、二〇 後一一、四五

舊六月二十九日　癸丑　八　先勝　執　婁宿　九

評判定總本部　東京市本鄕區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神宮館

▲一白の人　實力と才能とを考へて行動せざれば過あり▲二黑の人　往復文書又は證文などにて變を生ず注意日▲三碧の人　困難に遭ぐうして無理押すれば更に窮すべし▲四綠の人　れつ日の下の蛾の行動を見し己を顧み愼めよ▲五黃の人　轉げ出したる石は谷底に至らざれば止らず▲六白の人　秩序整然として自然に氣運の伸び行く吉日▲七赤の人　橫車を押さず自重して眞直に進むがよろし▲八白の人　調子さへ狂はぬ樣にすれば進むもとがはなし▲九紫の人　分限を越へたる希望は注意せざれば破あり

三品超特價

福引大賣出し
八月自四日至十四日 五日間

◎御買上金一圓每に福引券進呈
景品は本明石、本場銘仙、鳴海本絞、浴衣地等特等より五等まで空籤なし
◎鋪裝道路竣工 何卒御誘合せの上御來店下さい
一圓均一見切品掘出物山積中元御贈答用格安品豐富取揃へ皆樣を御待ちして居ります

京染　其の他絽帶側、絽
ジョゼット 三、五〇　名古屋帶、明石、
優秀着尺モス 二、八〇　絽小紋等盛夏必需
本銘仙 三、五〇　品斷然特價提供

平町 三井呉服店 電二八・四三八番

銘木ト建築木材ノ御用命ハ今一番勉强スル當店へ
建築材一式 建具材 便利
平町字紺屋町四〇
㊎織田材木商店 電話四六〇番
極優良材榧將棋盤アリ格安讓リタシ。

小兒科 內科 花柳病科
平町ねずみ坂
渡邊醫院 電話一六一番